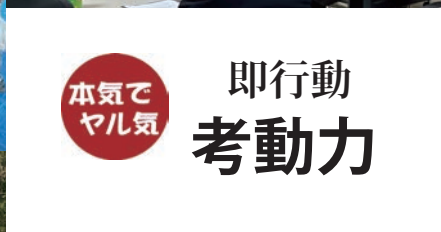




防災訓練 実践力



情報交換会 聴く力



本気で
ヤル気

即行動 考動力



議会 突破力



齋藤元彦兵庫県知事
結束力



姫路野球協会会長
子供達の未来を拓く力



危険場所視察 現場力

「逆境を力に変えて」～がんサバイバーとしての経験を活かす～

姫路市は「躍動する兵庫」を掲げる齋藤元彦新県政と共に着実に次のステージに駒を進めていかなければなりません。兵庫県を牽引する播磨の中核市として「播磨臨海地域道路」や「カーボンニュートラルポータル姫路港」をはじめとする未来に大きな発展を約束する大型プロジェクトが進む中で、国・県・市と連携し、力強く前に進めることが我々の使命であります。

私事ではありますが、「悪性リンパ腫」に罹患し、現在通院での抗がん剤治療中であることを公表させて頂きました。この血液の癌は現在の医療では「寛解」から「完治」が可能で完全復帰を目指しております。春の県議会議員改選時（統一地方選挙）までには治療が終わる予定で「逆境を力に変え」初心に返り「挑戦」の気持ちを持って臨む所存です。「健康」であることは政治家の生命線だと認識しております。次期任期への不安があるようであれば、このような決断は致しませんでした。また、自身のがんサバイバーとしての経験を政治活動に活かし、がんが苦しむ人々や家族を救える政策を実行して参ります。その決意と覚悟をご理解頂き、更なるご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

兵庫県議員 北野 実



兵庫県議会議員

No.23 令和5年1月

北野 実 県政レポート 実の目

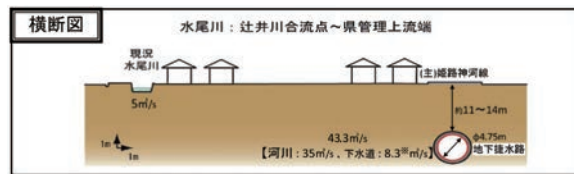
発行所：北野実事務所

「水尾川」治水対策 事業化決定

浸水被害が頻繁に発生していた二級河川夢前川水系「水尾川」治水対策の事業化が決定しました。低平地に住宅が密集する市街地であることから、**県議会初当選時から機会あるごとに早期事業化を求めています。**

20年に1回程度発生する規模の流量でも浸水被害を生じさせない改修を行います。事業期間は令和9年度までの計画で、今年度は詳細設計が実施されています。

頻発する浸水被害を防ぐ



事業概要	
事業区間	姫路市田寺～北今宿
総事業費	82億円
内用地補償費	1.5億円
事業期間	令和4(2022)年～令和9(2027)年
事業概要	地下埋設水路整備
延長	1,300m(φ4.75m)
費用便益比B/C	5.0
※河川整備計画における全ての事業による費用便益比	

※現地条件を反映した見積りや、類似事業である津門川地下貯留管整備事業を参考に、事業費及び工程の妥当性を確認しました。

県立はりま姫路総合医療センター

命を救う、守る 播磨姫路圏域の中核的医療機関

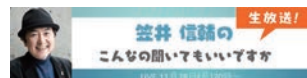
5月1日に開院した県立はりま姫路総合医療センター（愛称：はり姫）。命を救い守る播磨姫路圏域の中核的医療機関としての機能を発揮しています。

思い起こせば平成26年の9月定例県議会一般質問で、老朽化した県立姫路循環器病センターの移転機能強化を提案したことで構想が動き出しました。令和元年の6月定例議会一般質問では「断らない救命救急の実現」「医師不足の解消を含めた地域医療機関との連携」「高等教育・研究機関と連携した高度医療の提供」等を求めました。新型コロナウイルスの発生を受けて感染症が対応できる機能も追加されました。

開院は、まさに地域にとって悲願の達成です。「良質な医療を、良質なチームで」をモットーに診療にあたられています。機能を発揮し、より愛され、信頼される病院となるよう、ともに努力してまいります。



がんと・ひとと・つなぐ
オンコロ



がんサバイバー対談
北野 実 × 笠井 信輔

この度「がんサバイバー」として、オンコロ（がんと人をつなぐ）の企画で元フジテレビアナウンサーで「悪性リンパ腫」から完全復帰を果たした笠井信輔さんの生配信YouTubeに出演させて頂きました。是非ご覧下さい。

北野実×笠井信輔さんの対談QRコード



各地の歩道橋及び通学路の整備を実行



市川、夢前川、林田川ほか生命と財産を守る
河川整備を実行



信号機新設

本気でヤル気 実行力

今任期中要望 709 件→実現 573 件

必ず実現

北野実 HP
QRコード



北野 実
プロフィール

1959(昭和34)年7月19日
姫路市立東小学校 / 姫路市立東光中学校
兵庫県立姫路西高校 / 立正大学経営学部

姫路市議会議員：(H15～)
兵庫県議会議員：(H19～)
好きな言葉：不易流行
ふえきりゅうこう

播磨臨海地域道路 都市計画手続き着手

播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）は、国道2号バイパスの渋滞解消、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路であり、早期実現は地元の悲願です。このほど、**国が調査したルート計画案が県に手交され、「内陸・加古川ルート」を対応方針として都市計画手続きに着手することになりました。**整備促進は、姫路港を中心とした播磨臨海地域のカーボンニュートラルポート形成計画に欠かせないものであり、これからも地元一丸となって取り組みます。

播磨臨海地域道路の対応方針

令和2年6月29日
近畿地方小委員会資料より作成



脱炭素社会めざして姫路から先導 姫路港を中心にカーボンニュートラルポート形成

2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）実現をめざした動きが進んでいます。齋藤知事が力を入れている取り組みの一つで、県は今年度、姫路港を中心とした播磨臨海地域においてカーボンニュートラルポート形成計画を策定することにしています。7月には県、近畿地方整備局、企業などが参加する協議会を設立しました。姫路港は液化天然ガス（LNG）の輸入量が国内4位、西日本1位など水素受入基地立地の高い優位性をもっています。令和3年春には姫路市内で県内3箇所目となる水素ステーションがオープンしました。

水素のサプライチェーンの拠点となることが今後の兵庫県、姫路市の発展のキーとなり得ます。官民連携により取り組みが進むよう努力して参ります。



水素ステーション開設式典に出席

県民ボトムアップ型県政へ対話と現場主義を実践

県民ボトムアップ型県政を実現するため、齋藤元彦知事は「対話と現場主義」を基本姿勢として県内各地に足を運び、地域の様々な活動を見て、体験されています。姫路市内を訪問された際には同行し、訪問先の方々との意見交換に参加させていただきました。現場の声を県政に反映させ、知事と共に躍動する兵庫へ全力を尽くします。



知事の妻鹿漁港の視察に同行

夜間中学「あかつき中学校」 令和5年春、姫路に開校



夜間中学体験会を隣の教室から授業をモニター視察

令和元年6月の定例県議会一般質問で訴えた夜間中学校が令和5年4月に開校します。姫路市立夜間中学「あかつき中学校」として姫路市立東小学校で開校。兵庫県では尼崎、神戸2校に続き4校目となり、西のエリアでは初で周辺の市町からも入学出来ます。今任期の最初から必要性を県市に対して訴えてきた取り組みで、実現ができ大変嬉しく、また、尽力頂いた関係各位に感謝致します。「誰も取り残さない社会の実現」には必要な学校として大いに期待し、開校準備、来春の開校後もしっかりサポートしてまいります。

原油価格・物価高騰の緊急対策で補正予算3度 一時金の支給など生活の安定化、経済活動を支援



原油価格・物価高騰で家計や企業活動に影響を与えていることから、齋藤元彦知事に緊急要望を行い、早速、補正予算が編成され、6月定例議会で可決しました。その後も9月、12月と計3回にわたり、コロナ感染状況に応じた体制強化と物価高騰への緊急対策を柱とした補正予算が生まれ、議会で可決しました。感染症対策では検査・医療体制の整備、自宅療養者に対するフォローアップ体制の強化などを実施。物価高騰対策では一時金の支給など県民生活の安定、経済活動を支援しています。

令和5年度県当初予算編成に対する知事申し入れ

11月8日、自民党兵庫議員団として令和5年度県当初予算編成に対する申し入れを齋藤知事にいたしました。「新しい息吹を実感できる兵庫を創生していくことが必要」として、最重点提言項目4項目及び部会毎にとりまとめた278項目を提言し、予算への反映を求めました。

道路・河川の維持管理の充実へ 県単独事業を20億円増額 自民党兵庫議員団の要望が実現

県では今年度からスタートした県政改革方針によるビルドを重視した新たな取り組みとして、河川や道路の日常の維持管理の充実を目的に、県単独事業費を20億円増額しました。自民党兵庫議員団が県民の安全や暮らしに直結し、必要性を実感できる事業については着実に実施していくべきと、要望していたものです。姫路土木事務所管内においても、住民の方から要望を受けていた道路の区画線の補修および除草、河川事業では堤防の除草などを実施します。来年度においても充実を図る方針です。

県では今年度からスタートした県政改革方針によるビルドを重視した新たな取り組みとして、河川や道路の日常の維持管理の充実を目的に、県単独事業費を20億円増額しました。